

平成22年度家庭系可燃ごみ有料化の収支概要

平成18年度から実施している家庭系可燃ごみ有料化に伴う平成22年度の収支概要がまとまりましたのお知らせします。

詳しくは、次頁をご覧ください。

歳 入		歳 出	
50 ^{リットル} 袋	61,957,000 円 (1,239,140 枚)	有料化実施経費	20,675,808 円
20 ^{リットル} 袋	44,536,800 円 (2,226,840 枚)	ごみ減量化推進経費	101,281,296 円
10 ^{リットル} 袋	6,071,700 円 (607,170 枚)	不法投棄等対策経費	5,398,429 円
合 計	112,565,500 円	合 計	127,355,533 円

◇ ごみ減量化・再資源化の推進に係る3経費の総額は、約1億2,736万円です。

<<有料化実施経費>>

有料化実施経費2,067万5,808円のうち主なものは、市指定袋制作費、市指定袋取扱委託料、市指定袋保管・配送委託料、および福祉的配慮無料配付などとなっています。

なかでも、平均製作単価が約3.067円/枚の20^{リットル}袋を125万枚製作するのに要した市指定袋製作費総額は383万3,812円で、有料化実施経費の約19%を占めています。

<<ごみ減量化推進経費>>

ごみ減量化推進経費10,128万1,296円のうち主なものは、カン・ビン・ペットボトル本体の選別および再資源化業務委託料、ごみの分別と出し方マニュアル・ポスター・違反ごみ啓発シールの制作費、および生ごみ処理機購入助成金などとなっています。

なかでも容器包装プラスチックの選別および再資源化業務委託料は2,657万2,419円で、約590トンが再生樹脂やパレットなどに再資源化されています。

<<不法投棄対策経費>>

不法投棄対策経費539万8,429円のうち主なものは、不法投棄のパトロールや違反ごみの調査に伴う不法投棄対策等委託料、ボランティア袋制作費などとなっています。

平成22年度家庭系可燃ごみ有料化の収支詳細

歳 入(市指定袋の収支:手数料)				
袋の種類	枚数(枚)	単価(円)	手数料額(円)	備 考
50ℓ袋	1,239,140	50	61,957,000	
20ℓ袋	2,226,840	20	44,536,800	
10ℓ袋	607,170	10	6,071,700	
歳入合計			112,565,500	

歳 出			
摘 要		金 額(円)	備 考
有料化実施経費	1 市指定袋制作費	3,833,812	
	2 市指定袋取扱委託料等	8,337,155	
	3 市指定袋保管・配送委託料	2,719,696	
	4 市指定袋取扱関係事務経費	239,145	
	5 福祉的配慮無料給付分	5,546,000	
	小 計	20,675,808	
ごみ減量化推進経費	6 かん・びん・ペットボトル本体、容器包装プラスチックの選別及び再資源化業務委託料	81,403,596	
	7 啓発経費(アニュアル・ポスター制作費)	540,750	
	8 生ごみ処理機購入助成金等	401,000	
	9 有価物集団回収及び廃棄物減量等推進活動報償費	2,594,000	
	10 人件費	14,885,866	
	11 廃棄物中継施設管理事業費	1,456,084	施設稼働はH20.4～
小 計	101,281,296		
不法投棄等対策経費	12 不法投棄対策等委託料	5,251,093	
	13 ボランティア袋制作費等	27,000	
	14 啓発ポスター用パウチフィルム	12,800	
	15 現場用作業用具等	107,536	
	小 計	5,398,429	
歳 出 合 計		127,355,533	

主な歳出内容

1 市指定袋制作費 3,833,812 円

袋の種類	枚数(枚)	単価(円)	計(円)
50 ^{リットル} 袋	0	0.0000	0
20 ^{リットル} 袋	1,250,000	3.0670	3,833,812
10 ^{リットル} 袋	0	0.0000	0
合 計			3,833,812

2 市指定袋取扱委託料等 8,337,155 円

市指定袋の取扱を委託している取扱協力店(平成23年3月末現在:148店)及び町会(協力町会:7町会)に対し、それぞれの取扱額に応じて委託料及び報償金を支払っています。

3 市指定袋保管・配送委託料 2,719,696 円

市指定袋取扱協力店への配送をはじめ、保管及び在庫管理等を業者に委託しています。

4 市指定袋取扱関係事務経費 239,145 円

以下の経費に使用しました。

○郵便料 239,145 円

5 福祉的配慮無料給付分 5,546,000 円

0歳児やおむつを常時使用している介護保険要介護・要支援の高齢者及び補装具としての紙おむつの支給を受けている障害者のいる世帯に対し、無償給付しています。これにかかる予算は、各担当課が歳出として計上しています。

6 カン・ビン・ペットボトル本体、容器包装プラスチックの選別及び再資源化委託料 81,403,596 円

有料化実施経費

収集されたカン・ビン・ペットボトル本体、及び容器包装プラスチックについて、リサイクルできる物とできない物とに選別する業務などを業者に委託しています。

- ①カン・ビン・ペットボトル本体の選別及び再資源化 27,829,377 円
 平成22年度実績:約1,227トン 単価:22,680/トン
- ②容器包装プラスチックの運搬 27,001,800 円
- ③容器包装プラスチックの選別・圧縮・梱包 25,574,175 円
 平成22年度実績:約621トン 単価:41.19円/kg
- ④容器包装プラスチックの再商品化 998,244 円
 平成22年度実績:約590トン 単価:1.69円/kg

7 啓発経費(マニュアル・ポスター等制作費) 540,750 円

以下の経費に使用しました。

- 違反ごみ啓発シール等製作費 50,000 部 540,750 円

8 生ごみ処理機購入助成金等 401,000 円

平成22年度は、16件の申請があり、1件あたり平均約25,063円を交付しました。

9 有価物集団回収及び廃棄物減量等推進活動報償費 2,594,000 円

有価物集団回収活動報償費は、町会などが実施する新聞やアルミ缶などの資源ごみの集団回収活動に対し、月額4,000円を上限に1回あたり2,000円を交付しています。平成22度は、39町会などが実施した集団回収活動によって、約864トンの資源ごみがリサイクルされました。

廃棄物減量等推進活動報償費は、町会の推薦を受け、市長が委嘱した推進員の廃棄物減量化、再資源化に関する取り組みへの協力などの活動に対して、推進員1名あたり月額1,000円を町会に交付しています。平成22度では、44町会、112名の推進員が活動しました。

10 人件費(健康保険や年金の事業者負担分を含みます) 14,885,866 円

家庭系可燃ごみの有料化実施及びごみの減量化・再資源化の推進のための事務量が増大したため、平成18年に環境衛生課に2名増員配置されたことによるものです。

11 廃棄物中継施設管理事業費 1,456,084 円

平成20年4月実施の容器包装プラスチックの再商品化に伴い、収集された容器包装プラスチック中継施設の管理に必要となる経費です。

摘 要	金額(円)
修繕費	539,820
土地賃借料	916,264
合 計	1,456,084

不法投棄等対策経費

12 不法投棄対策等委託料 **5,251,093 円**

主に不法投棄のパトロールや違反ごみの調査に伴う業務をシルバー人材センターに委託しています。

13 ボランティア袋制作費等 **27,000 円**

不法投棄や違反ごみのパトロール中に発見された小規模なごみを収集するために、平成22年度にごみ袋(45ℓ無色透明)を3,600枚購入しました。

14 啓発ポスター用パウチフィルム **12,800 円**

不法投棄等の啓発ポスター防水加工用として、A3サイズを100枚購入しました。

15 現場用作業用具等 **107,536 円**

監視カメラのバッテリー交換等に使用しました。